

2022年3月15日
公益社団法人日本語教育学会

2021年度日本語教育学会秋季大会
大会若手優秀発表賞 選考結果報告

1. 選考対象者数※

16名

2. 授賞者（授賞理由は次ページ参照）

<口頭発表>

雍婧氏（一橋大学大学院生）

発表題目：「留学経験を持つノンネイティブ日本語教師認知の変容プロセスと影響要因—複線径路・等至性アプローチによる可視化を通して—」〔単独発表〕

<ポスター発表>

堀美宇氏（岩手大学大学院生）

発表題目：「双方向型の伝達場面におけるやさしい日本語の一考察—文法外のやさしさに着目して—」〔単独発表〕

※ 本賞は、その[表彰規程](#)で定める若手の筆頭発表者本人が有効期限付き学生証の写しを本会事務局に提出した場合に選考対象としました。

以上

<連絡先>

公益社団法人日本語教育学会（大会担当）

〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-4-1 東方学会 2F

E-mail: taikai-office@nkg.or.jp

2021年度秋季大会 大会若手優秀発表賞授賞者

本賞は、春季・秋季の各大会において発表された口頭発表・ポスター発表の発表者のうち、特に優れていると認められた若手の筆頭発表者を表彰します。なお、2021年度秋季大会より、表彰規程で定める若手の筆頭発表者本人が有効期限付き学生証の写しを本会事務局に提出した場合に選考対象としました。

<口頭発表>

授賞者：雍婧 氏（一橋大学大学院生）

発表題目：「留学経験を持つノンネイティブ日本語教師認知の変容プロセスと影響要因

—複線径路・等至性アプローチによる可視化を通して—」〔単独発表〕

【授賞理由】

先行研究を踏まえ、適切な研究手法に基づく考察を通して研究結果が導かれている。養成課程での教育実習が日本でのものと出身国である中国でのものと異なる認知的影響を与えていることが示されていて、日本語教師養成のあり方に関する検討に有益な示唆を与えている。また、質疑応答への対応が的確であったことも審査員の高い評価につながった。本発表は大会若手優秀発表賞にふさわしいものであり、若手研究者である雍婧氏の今後の研究のますますの発展が期待される。

<ポスター発表>

授賞者：堀美宇 氏（岩手大学大学院生）

発表題目：「双方向型の伝達場面におけるやさしい日本語の一考察—文法外のやさしさに着目して—」〔単独発表〕

【授賞理由】

災害に関する知識、経験等に配慮する「文法外のやさしさ」に着目している点が審査員から高く評価された。実用的な使用場面を想定したオリジナリティの高い研究であることから、研究方法を工夫すれば今後のさらなる発展が期待できると思われる。質疑応答でも丁寧に対応し、参加者の意見を次に生かそうとしている点も見られた。本発表は大会若手優秀発表賞にふさわしいものであり、若手研究者である堀美宇氏の今後の研究のますますの発展が期待される。

以上
